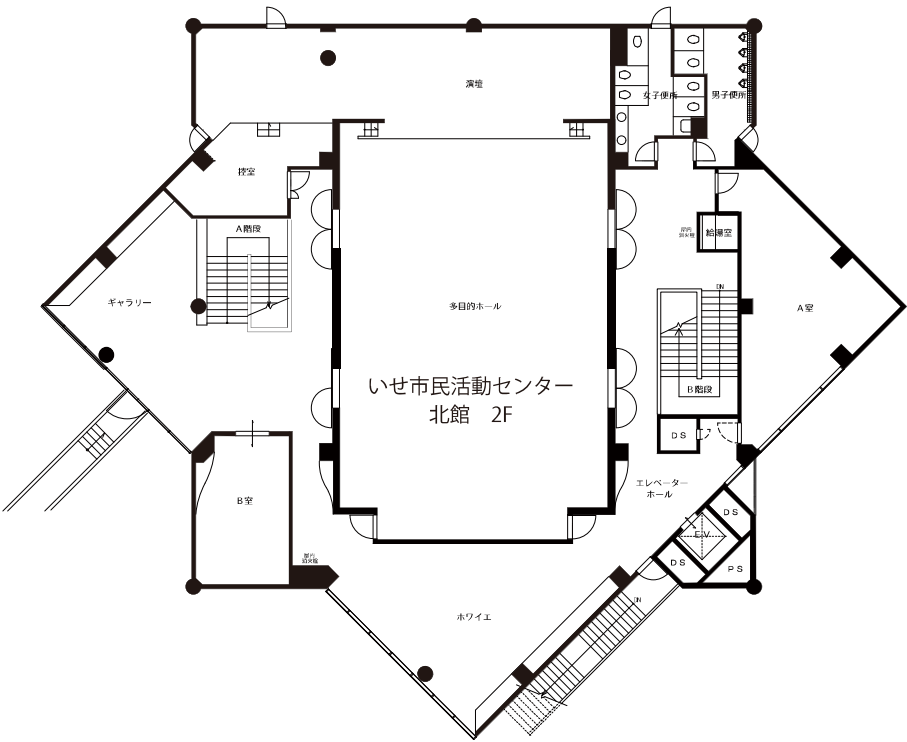
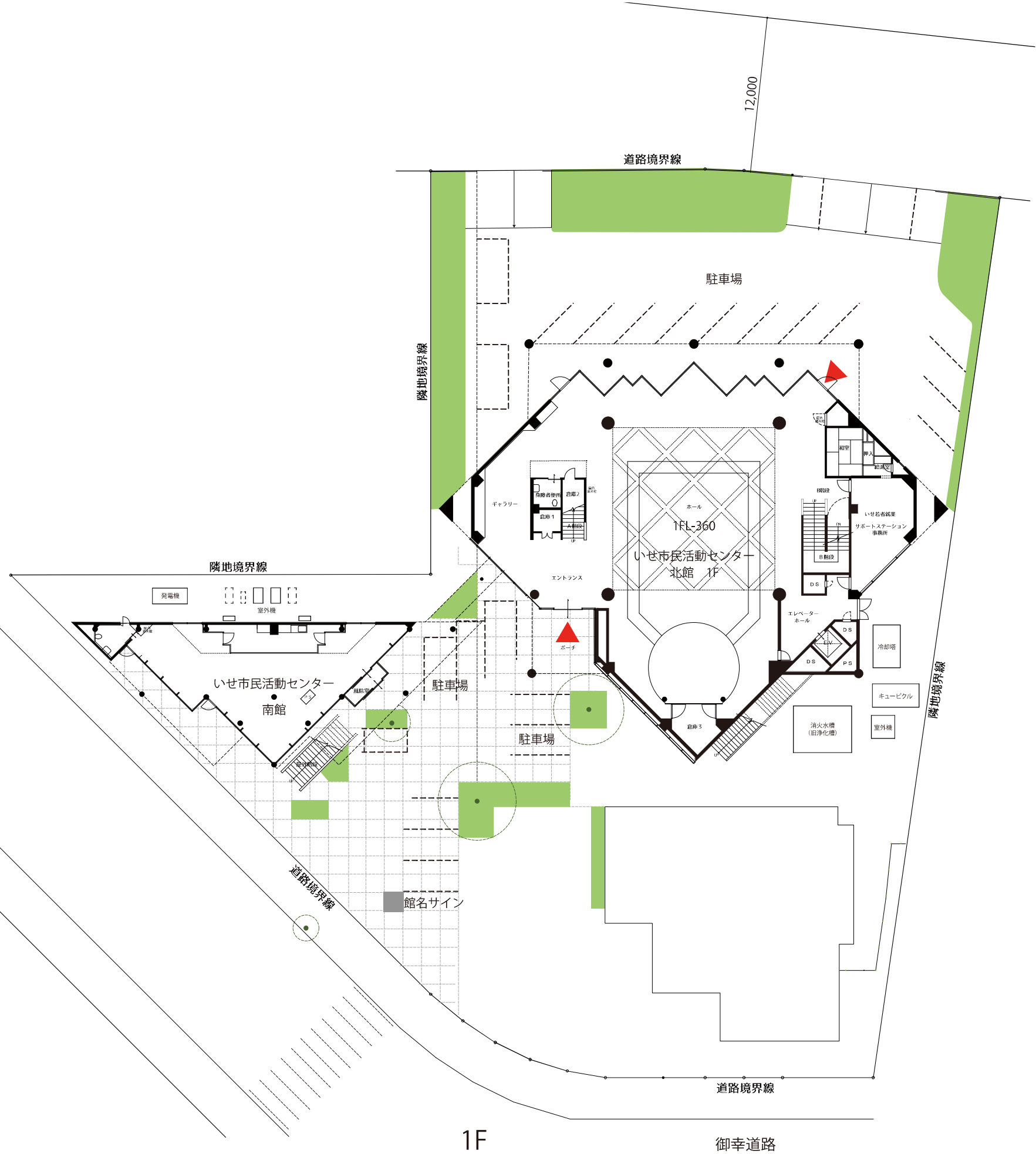
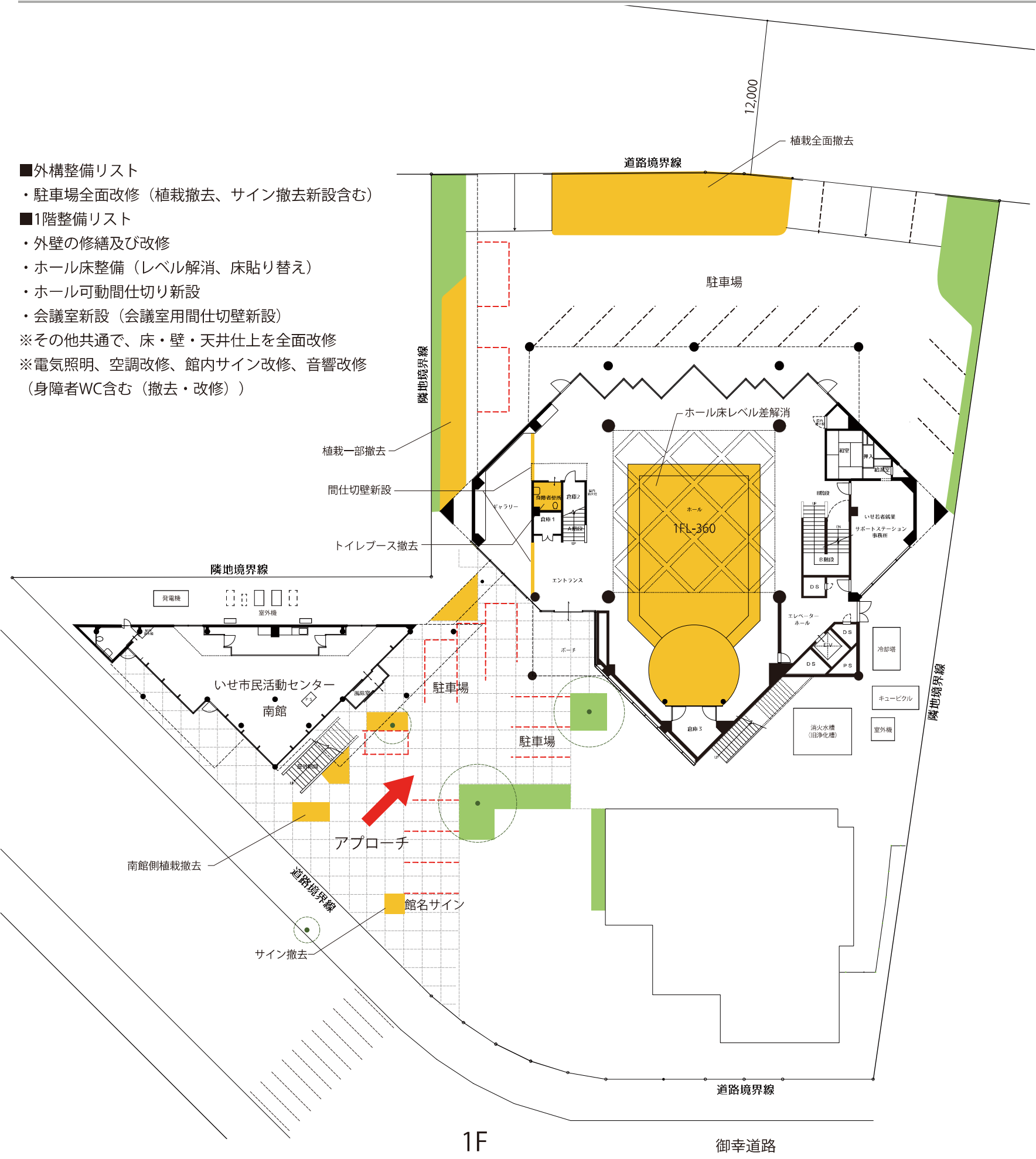
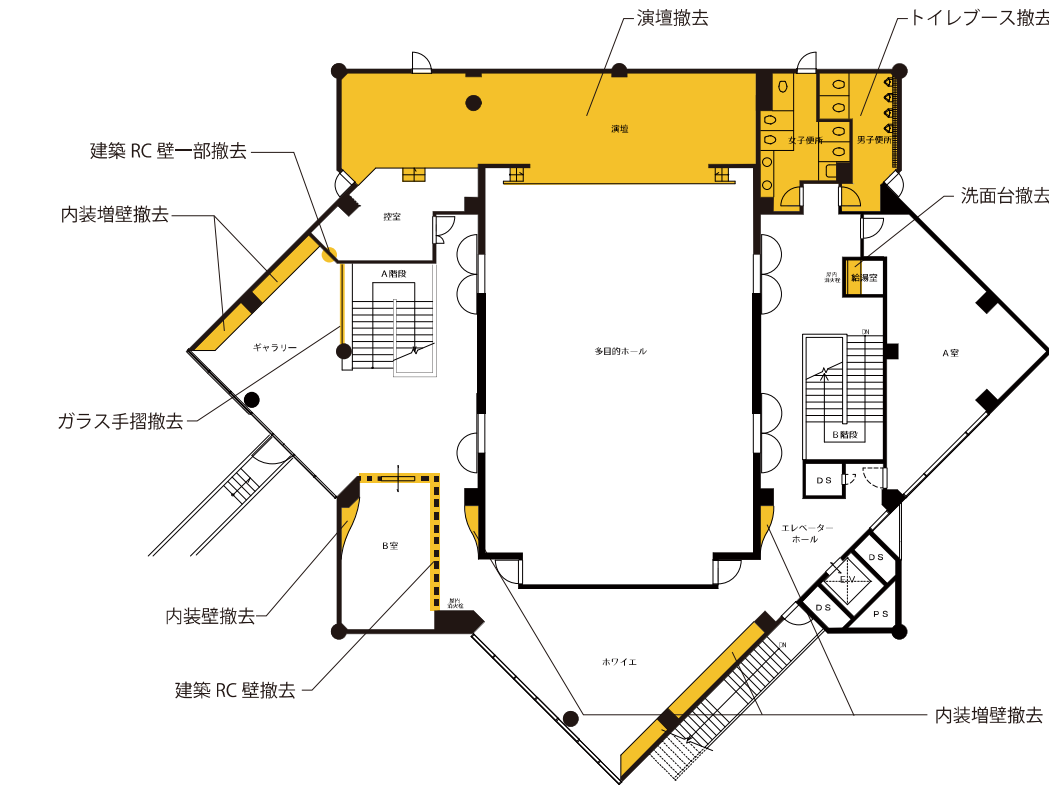




- 外構整備リスト
 - ・駐車場全面改修（植栽撤去、サイン撤去新設含む）
- 1階整備リスト
 - ・外壁の修繕及び改修
 - ・ホール床整備（レベル解消、床貼り替え）
 - ・ホール可動間仕切り新設
 - ・会議室新設（会議室用間仕切壁新設）
- ※その他共通で、床・壁・天井仕上を全面改修
- ※電気照明、空調改修、館内サイン改修、音響改修（身障者WC含む（撤去・改修））



- 2階整備リスト
 - ・床・壁・天井仕上を全面改修
- ※上記にともなう電気照明・空調設備全面取替
- ・一部内装壁及び間仕切壁撤去
- ・多目的ホール演壇、WCブース（撤去・改修）



- 地下1階整備リスト
 - ・床・壁・天井仕上を全面改修
 - ・WCブース（撤去・改修）



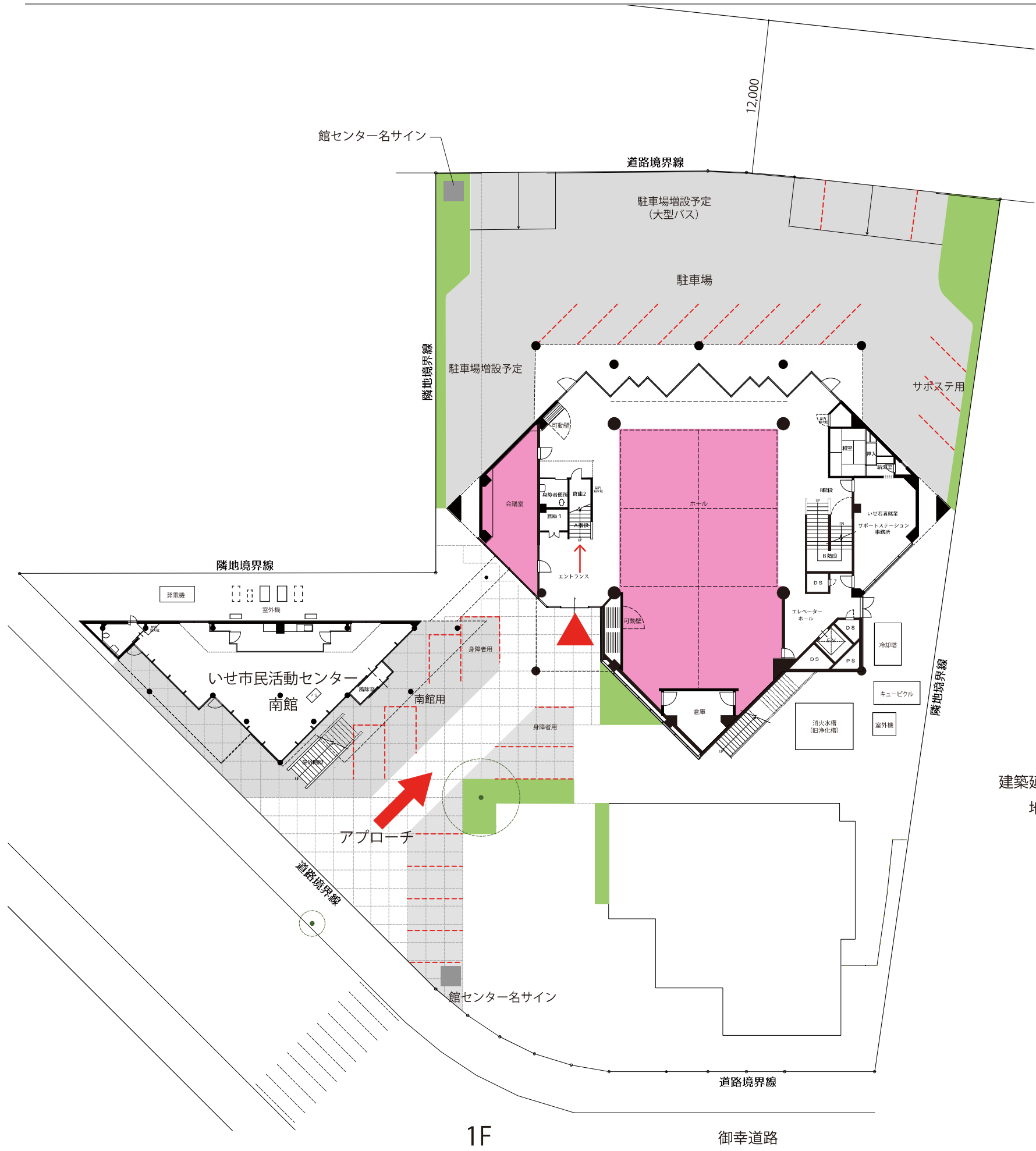
S=1:300



2F

共用 204.11 m²

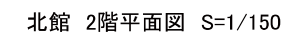




建築延床面積	1,685.86 m ²			
地下1階	253.49 m ²			
1階	654.26 m ²	市民活動関連	278 m ²	
		ホール	240 m ²	
		会議室	38 m ²	
2階	778.11 m ²	展示関連	482 m ²	事務関連 92 m ² 共用 204.11 m ²
		常設展示室	265 m ²	事務室 35 m ²
		企画展示室	50 m ²	一時保管庫他 57 m ²
		文化観光案内	77 m ²	
		調べ学習コーナー	40 m ²	
		多目的ルーム	50 m ²	



S=1:300



(仮称) 伊勢市郷土資料館／展示構成（案）

< 有料 > 常設展示

テーマ	対象	内容			資料（例）
		大項目	中項目	小項目	
1 伊勢の地形と自然 導入	市民・観光客	地形と自然	地形の概要	気候変動、地殻変動等による地形の形成…など	地質図、航空写真（中央構造線）、特徴的な地形画像…など
				現在の地形と地学的特徴、気候の特徴…など	
			自然の概要	地形変動に伴う自然環境の変化…など	植生図、生物分布図、特徴的な生物画像…など
				現在の自然環境、生物生息環境…など	
2 伊勢のはじまり 伊勢の黎明と展開	市民・観光客	原始・古代の伊勢	伊勢の起源と人々の営み	旧石器時代、縄文時代、弥生時代、古墳時代の概要	歴史年表、元新田遺跡、佐八藤波遺跡、隠岡遺跡、南山古墳（市指定）、離宮院跡の出土遺物…など
		伊勢と仏教	末法思想の流行	伊勢の経塚	歴史年表、蓮台寺滝ノ口経塚群（市指定）、小町塚経塚、朝熊経ヶ峰経塚群の出土遺物…など
			安養寺と中世伊勢	歌僧・西行の逗留…など	歴史年表、安養寺跡（市指定）の出土遺物…など
3 伊勢参りの変遷と隆盛 伊勢参りの変化と文化・芸術の振興	市民・観光客	伊勢参りの変遷	私弊禁断から庶民の参詣へ	私弊禁断制度、足利将軍…など	足利将軍以降の参詣、古文書、古絵図…など
		おかげ参り	おかげ参りの流行	伊勢講、施行、娯楽…など	大々御神楽札、御師邸復元映像、檀家帳、伊勢暦、錦絵、両宮曼荼羅、道中鑑札、道中用具、参宮名所図会、道中宿案内、古市参宮街道関係資料（妓楼、錦絵）…など
		伊勢の御師	伊勢信仰を広めた御師の活動	御師の仕事	
				御師の館	
		文化・芸術の振興	文化享受者の大衆化	伊勢の文化・芸術の広がり	磯部百麟等の神都画人とその作品／荒木田守武等文人とその作品／伊勢を訪れた文人たち／旧豊宮崎文庫…など
			文化・芸術の流入と拡散	文化・芸術の流入および拡散の経緯	
				伊勢の文人と伊勢を訪れた文人たち	
4 伊勢参りと共に発展したまち 伊勢のまちの成り立ちと変遷	市民・観光客	神領のまちの発展	鳥居前町としての発展	宇治のまちの成り立ち	宇治と山田のエリア図（古地図）、河崎、古文書…など
				山田のまちの成り立ち	
			山田三方と宇治会合	自治組織による町政運営	三方会合関連古文書、山田羽書…など
			山田奉行所	幕府による遠国奉行の設置	屋敷図（写）…など
		神都の発展	鉄道開通と観光都市化	アクセスルートの新時代	御師の廃止、神都鳥瞰図、鉄道開通エリア、神宮へのルート変遷、神都計画、戦災復興と遷宮ごとの基盤整備…など
				伊勢参宮システムの変化	御師の廃止とその後の観光状況、名勝二見浦、賀日館…など
5 大湊と造船 造船のまち・大湊	市民・観光客	伊勢の海上ネットワーク	海路の拠点・大湊	海路ネットワークの活用と関わる人々	海路ネットワーク図…など
		造船業の盛衰	造船業が時代に果たした役割と様相	信長・秀吉と九鬼水軍（大湊の造船史）	日本丸模型・部材、大湊古文書（写）…など
				近代産業としての造船	旧市川造船所資料（図面、船具など）…など
				職工の育成	大湊工業補習学校、大湊造船徒弟学校等資料…など
6 伊勢の人々 伝え継がれる行事と民俗	観光客	神宮への奉仕行事	式年遷宮と人々の奉仕	お木曳き行事	奉曳車、木櫓、木遣り歌、法被、行事次第、エリアマップ…など
				お白石持行事	奉曳車、木櫓、木遣り歌、法被、行事次第、エリアマップ…など
		伊勢の民俗芸能・風習	民俗芸能・風習	伊勢音頭、鞆鼓踊、馬瀬狂言、岳参り、注連縄…など	各芸能・風習の様子、歴史および内容を示す資料、映像…など
7 災害の記憶 伊勢の災害	市民	伊勢の災害の足跡	伊勢と地震	明応地震、宝永地震、安政東海地震、昭和東南海地震	各災害の経緯、被害、被災エリア、大湊古文書（波除堤破堤）…など
				南海トラフ系の被害予測	
			伊勢と水害	伊勢湾台風、七夕水害…ほか	
			伊勢と戦災	宇治山田市大空襲…ほか	

< 無料 > 観光案内展示

テーマ	内容			資料（例）
	大項目	中項目	展示内容	
地域観光ガイドンス 伊勢ギャラリーマップ	ジャンル別ポイント	文化財建造物	旧御師丸岡宗大夫邸、近鉄宇治山田駅、旧山田郵便局電話分室、實日館…など	グラフィック、写真、映像など
		神宮以外の社寺	御利益スポット：猿田彦神社、二見興玉神社、佐瑠女神社、松尾観音寺、金剛證寺…など	グラフィック、写真、映像など
		歴史探訪	歴史の足跡：河崎、古市、世古、夫婦岩表参道、平家ゆかりの地、…など	グラフィック、写真、映像など
		伊勢の自然	伊勢ならではの自然環境：伊勢湾、朝熊山自然遊歩道、伊勢志摩国立公園、季節の花暦…など	グラフィック、写真、映像など
		伊勢の風景	写真映えスポット：夫婦岩の日の出&月の出、伊勢志摩スカイライン、外宮勾玉池、宮川堤…など	グラフィック、写真、映像など
		博物館・美術館	学習や鑑賞：神宮徴古館、式年遷宮せんぐう館、伊勢古市参宮街道資料館、マコンデ美術館…など	グラフィック、写真、映像など
		食文化	伊勢うどん、貝めし、伊勢たくあん、朝熊小菜などとその歴史…など	グラフィック、写真、映像、食品サンプル、実物資料など
		伊勢みやげ	伝統工芸：伊勢根付、伊勢玩具、伊勢和紙、伊勢春慶、伊勢一刀彫…など	グラフィック、写真、映像、実物資料など
	目的別周遊コース	代表的な周遊コース	伊勢神宮コース、自然満喫コース、グルメ堪能コース、歴史探訪コース…など	グラフィック、写真、映像など
	伊勢の四季と民俗行事	季節ごとの民俗行事やイベント	春：一色能、おひなさまめぐり、神宮奉納大相撲、五十鈴川桜まつり、春の伊勢楽市、御田祭…など	グラフィック、写真、映像など
			夏：高柳の夜店、外宮さんゆかたで千人お参り、伊勢神宮奉納全国花火大会、羯鼓踊、河崎音頭…など	グラフィック、写真、映像など
			秋：初穂曳き、馬瀬狂言、御塩殿祭、神宮観月会、伊勢まつり、秋の伊勢楽市…など	グラフィック、写真、映像など
			冬：御頭神事、おかげ横丁節分の市、野口みずき杯中日三重お伊勢さんマラソン…など	グラフィック、写真、映像など

第 1 章 建築改修計画（案）※詳細検討中

1. 建物改修概要

（1）北館

<外部>

建物の性能維持に必要な箇所の補修及び新資料館に相応しい外観ファサードの整備をおこないます。

- ・屋根の一部張替え、外壁亀裂部の一部補修等をおこないます。
- ・外壁塗装の全面塗り替えをおこないます。

<内部>

新資料館の施設計画に基づき、床・壁・天井等内装及び電気・空調・給排水設備の整備をおこないます。

ア. 地下 1 階

- ・WCは全面やり替えをおこないます。
- ・電気・空調・給排水設備の取替えに伴う機械室のやり替えをおこないます。

イ. 1 階

いせ市民活動センター北館として、より利便性の高くなる施設整備をおこないます。

- ・ホールの床のレベル差を解消し（1FL-360 から 1FL±0）バリアフリー化します。
- ・ホール廻りに可動間仕切壁を設置し、屋外から干渉されにくい環境の形成や、ホールの活動で発生する音が施設内の他のエリアに影響しない対策を図ります。
- ・ギャラリーのスペースに間仕切壁を設け、貸会議室とします。
- ・障害者WCは全面やり替えて「だれでもトイレ」に改修します。
- ・上記に伴う、床・壁・天井仕上げなど内装のやり替えをおこないます。
- ・上記に伴う、電気照明・空調・給排水等設備のやり替えをおこないます。
- ・上記に伴う、サインなどのやり替えをおこないます。

ウ. 2 階

資料館として要求される機能を満たす施設整備とします。

<現多目的ホール>

- ・演壇を撤去し、常設展示室と企画展示室を設置します。
常設展示室は、展示計画を実現するための映像音響照明等の電気設備や空調の整備をおこないます。
- ・控室廻りは、企画展示の借用資料を保管するための一時保管庫や展示準備室などを設置し、資料保存に適した設備環境になるよう全面的に整備をおこないます。

<現 B 室>

- ・壁面を撤去し、開放的な学習コーナーに改修します。

<フロア共通>

- ・WCは全面やり替え。
- ・上記に伴う、床・壁・天井仕上げなど内装のやり替えをおこないます。
- ・上記に伴う、電気照明・空調・給排水等設備のやり替えをおこないます。
- ・上記に伴う、サインなどのやり替えをおこないます。

2. 外構改修計画

(1) 南側

北館南側入口の正面アプローチとして、建物の視認性を改善するとともに、舗装面の全面やりかえ整備をおこないます。

尚、駐車場については、現在と同じ台数が駐車できるスペースを確保します。

- ・舗装は全面撤去し、新規舗装計画に基づいて整備します。
- ・北館入口ポーチ近くの駐車場スペースを来館者導入用の歩道として整備します。
- ・北館入口ポーチに向かう正面アプローチ部は来館者の歩道として整備します
※尚、駐車場の車路としても利用するため、兼用可能な舗装材を使用。
- ・南館前面の植栽・樹木は撤去し、全て駐車スペースとして整備をおこないます。
- ・屋外施設サインを撤去し、位置を変え（駐車場南端部）新規サインを設置します。

(2) 北側

駐車用スペースを拡大し、駐車台数が増えるよう整備します。

- ・前面道路歩道側の中央部植栽を全面撤去し、駐車場（大型バス 1 台分を想定）を整備します。
- ・西側隣地境界線部植栽を一部撤去し、駐車場スペースを拡大します。
- ・屋外施設サインを撤去し、位置を変え（東西植栽部）新規サインを設置します。

第2章 事業活動計画（案）

1. 資料館の役割

施設理念「過去から繋がる歴史・文化を現在・未来へと継承し、郷土の魅力を発信するための拠点となる博物館」を実現するため、基本構想の基本方針に基づいて、以下4つを資料館の役割とします。

「歴史的資料を収集し、調査・研究成果の展示や教育普及活動を行い後世に継承する。」

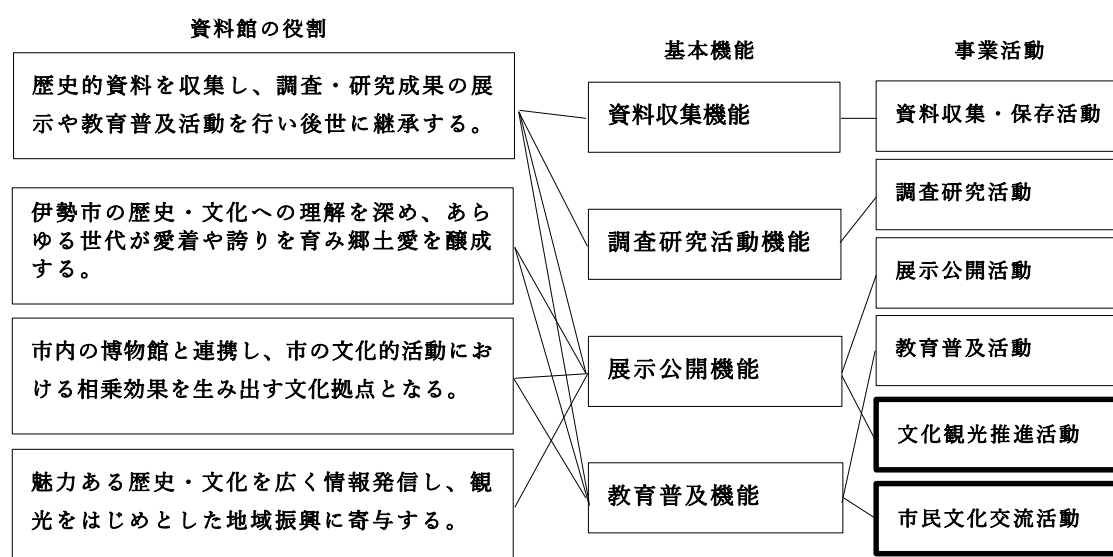
「伊勢市の歴史・文化への理解を深め、あらゆる世代が愛着や誇りを育み郷土愛を醸成する。」

「市内の博物館と連携し、市の文化的活動における相乗効果を生み出す文化拠点となる。」

「魅力ある歴史・文化を広く情報発信し、観光をはじめとした地域振興に寄与する。」

2. 資料館の機能と活動方針

前述の役割を果たすため、基本的な機能と事業活動に、「文化観光推進活動」と「市民文化交流活動」を加えた事業活動の展開を新たに検討します。これにより、基本的な資料館の機能及び活動を基盤にして、伊勢市の歴史的価値を国内外に発信し市民のシビックプライドの形成を目指します。



(1) 活動方針

各事業活動において、以下の目標を掲げ活動の具体的な指針とします。

- ・ 資料収集・保存

「伊勢市の歴史的資料を集約・管理して未来継承につなげていきます。」

- ・ 調査研究

「伊勢郷土史の調査研究を市内博物館や関連機関と連携しながら推進します。」

- ・ 展示公開

「伊勢市の総合的な郷土史を軸に伊勢市の魅力を市内外に発信します。」

- ・ 教育普及

「伊勢市の歴史的資料に出会い触れることができる地域学習の場をつくりま
す。」

- ・ 文化観光推進

「伊勢市の文化資源の情報発信を図り地域振興と観光振興を推進します。」

- ・ 市民文化交流

「市民が文化交流を通じて郷土の魅力を学び発見する機会を提供します。」

(2) 活動内容

- ・ 資料収集・保存活動

本市に存在する歴史・考古・民俗・産業等に関連した歴史的資料や情報を一元的に収集・集約し、適切な保存環境や電子データ化によるデジタルアーカイブ等の整備によって資料を整理ならびに管理します。

(展開例)

- ・ 市内に存在する伊勢の歴史・考古・民俗・産業等の資料収集保存活動
- ・ 個人等からの寄贈による関連資料の収集保存活動
- ・ 資料保存に適した環境や体制の整備または保存施設の確保と管理体制の整備
- ・ デジタルアーカイブ化による資料の整理と管理

- ・ 調査研究活動

伊勢市の歴史・考古・民俗・産業等をテーマとする調査研究を行い、新しい研究成果を展示し、教育普及に活かして情報発信の基盤とします。

(展開例)

- ・伊勢の歴史・考古・民俗・産業等の情報収集、調査・研究活動
- ・市内の博物館や関連団体、市民等と連携した共同調査研究活動

・展示公開活動

伊勢市の歴史的資料の情報を利活用し、市内外に公開して情報を全国に発信します。常設展示、企画展示、市内の文化観光促進に係る情報発信等の各種展示活動をおこないます。

(展開例)

- ・収集した資料や調査研究成果の活用と公開発信
- ・公開しきれない資料を活用した企画展示の企画と開催
- ・文化観光の促進を目的とした来訪者への情報発信

・教育普及活動

資料館独自の事業に加え、学校教育機関との連携事業や、市民の生涯学習のサポート事業にも取り組み、人々の文化交流を通じて郷土への誇りや愛着を醸成します。

(展開例)

- ・学校教育との連携事業や生涯学習サポート等の地域学習支援
- ・見学受け入れ、出前授業、資料貸出などの学校連携
- ・調べ学習スペース提供による地域学習支援

(主体的な地域学習を支援する調べ学習コーナー)

関連書籍の自由閲覧、対面で調べ学習の支援をするレファレンスサービス、デジタルアーカイブの検索閲覧等、郷土史について学べるライブラリー形式の調べ学習コーナーを整備します。

○地域学習エリア

◇関連書籍閲覧ができるブックコーナー

◇催事等に合わせて都度更新ができる書籍紹介コーナー

◇市が保有しているデジタル資料を検索・閲覧できるデジタルアーカイブ

・文化観光推進活動

伊勢市の文化観光関連の情報発信、市内博物館の相互連携等による周遊促進を行い、文化観光による地域活性化を推進します。

(展開例)

- ・市内文化観光案内情報の発信
- ・市内博物館に関する情報発信
- ・フィールドワークなどの市内文化観光イベントの開催

(市内博物館の相互連携による文化観光推進の促進)

伊勢市の様々な歴史文化を理解するには、実際に現地に足を運び、体験を通して学ぶことが重要だと考えます。そのため、市内に点在している、博物館や遺跡・史跡などへ誘導を促し、それらを巡る回遊型の文化観光につながる情報提供の方法を検討します。

・市民文化交流活動

主に新設の多目的ルームを活用した、伊勢の郷土史に関連した講座・講演会等のイベントや体験プログラム等の企画推進をおこない、市民が気軽に訪れたいくなる資料館を目指します。

(展開例)

- ・企画展関連の講演会
- ・展示関連の講座
- ・ワークショップの開催

(市内博物館の相互連携による市民文化交流の促進)

市内には、伊勢の歴史文化に特化した分野別の博物館施設や郷土史研究会や、観光・まちづくりの関連団体が数多く存在しています。本資料館はこれらの施設や団体との協働体制を構築して、合同展示やイベント等の連携事業を推進し、市全域により幅広い学びの機会と価値を還元します。

第3章 展示計画（案）

1. 常設展示（有料エリア）の考え方

常設展示室は伊勢の郷土史を軸にして、伊勢参りと共に歩み発展してきた特徴的な歴史文化を、さまざま視点から関連づけて紹介する「テーマ展示」とし、分野を横断した一体的で総合的なわかりやすい展示を図ります。伊勢の歴史文化を総合的に学ぶことにより、市内外の人にとって、知っているようで知らなかった伊勢の魅力を深く掘り下げて理解できる展示を目指します。

（1）展示テーマ

伊勢参りと共に発展したまち伊勢ならではのまちの歴史と人々の営みを伝えます。

原始・古代から現代までを対象とし、現在の伊勢市を形づくってきた経緯と共に、そこに息づく人々のありようを伝えます。なかでも伊勢参りと共に発展した神領のまち伊勢ならではの独特な文化や歴史事象を大きく取り上げます。

（2）展示の基本方針

ア．人々の営みを軸にしたテーマを設定し、多彩で独特な伊勢の歴史文化を伝えます。

神宮の影響を受けて生まれた伊勢独特の歴史的文脈を伝えるため、当時の人々がどのように向き合い、歴史を動かしてきたのか、人々の営みを伝えるテーマ展示をおこないます。

イ．人々が往来して形成してきた伊勢の歴史文化の潮流を、伊勢内外の視点で捉え直し、知られざる伊勢の魅力を全国に発信します。

伊勢は、伊勢参りの終着地であり海路の拠点として、全国から人々が集い交流し、そのことにより様々な文化が流入し拡散してきたまちです。こうした伊勢独特の歴史文化の形成経緯とありようを、伊勢内外からの複合的視点で捉え直し、伊勢の魅力を従来とは異なるものも含めて全国に発信します。

ウ．地域学習拠点として伊勢市全域の総合的な歴史文化を保存・継承します。

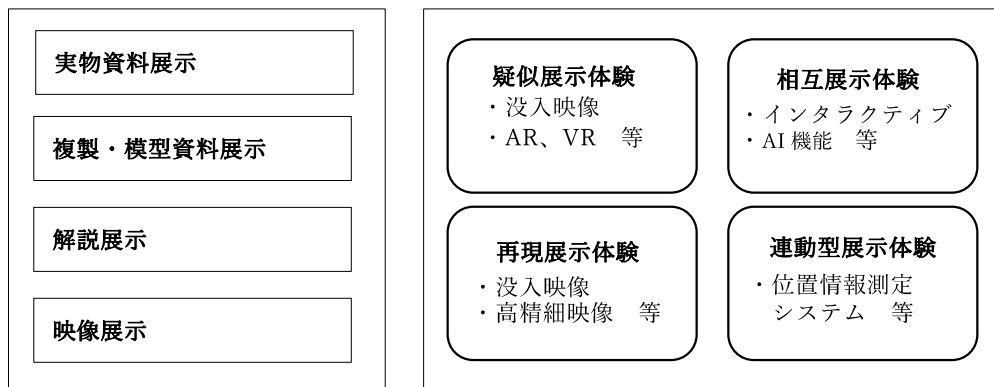
郷土の歴史的資料を保存・活用した展示をおこない、市民が地元地域に改めて興味を持ち、新しい魅力を再発見できる場と機会を提供する展示とします。

エ．市内博物館との連携と魅力的な歴史文化の発信による市内文化観光を促します。

市内の博物館施設等とも連携を図りながら、伊勢市の歴史文化の魅力や特性を発信し、市内周遊を促す展示とします。

(3) 展示手法の考え方

調査研究の成果や、資料情報、そして歴史的背景など、伊勢の価値や魅力を多くの人に伝えるため、基本的な資料展示や解説・映像に加えて、体感的に理解できる没入映像展示や、参加性の高いインタラクティブ手法等の体験展示を交えた展示手法の検討をおこないます。



(4) 展示構成

※以下、○中項目 ◇小項目

1 章 伊勢の地形と自然 ～導入～

〈展示ストーリー〉

伊勢市の地形と自然に焦点を絞り、地形ならびに気候変動に伴う自然環境の変化、またそれらによって形成された現在の地形や気候、およびそれらに基づく自然環境の概要を示し、伊勢市の環境がはぐくまれた経緯を踏まえて、伊勢の歴史文化の成り立ちを概観できる導入展示とします。

1-1 地形と自然

地形の形成経緯により築かれた現在の地形と地学的特徴、気候の特徴、および、これらの地形変化に伴う自然環境の変化と現在の自然環境、生物生息環境等の概要や図解等を活用したわかりやすい展示解説とします。

○地形の概要

◇気候変動、地殻変動等による地形の形成…など

◇現在の地形と地学的特徴、気候の特徴…など

○自然の概要

◇地形変動に伴う自然環境の変化…など

◇現在の自然環境、生物生息環境…など

(体験展示手法例)

- ・伊勢の地形白模型にプロジェクションマッピング映像を重ねた映像展示

2 章 伊勢のはじまり ～伊勢の黎明と展開～

〈展示ストーリー〉

太古の伊勢における人々の暮らしの営みを読み解き、当時の伊勢の有様の理解を促すと共に、古代には仏教的な思想が崇敬を集めた時期があったことを示し、多面的な視点から伊勢の黎明期の様相を伝えます。また、文人たちが残した作品等を通じて、当時から伊勢が特別な場所と認識されていたことを紹介します。

2-1 原始・古代の伊勢

遺跡発掘研究成果や出土品等の実物資料展示を中心とした展示を行います。旧石器時代、縄文時代、弥生時代、古墳時代の伊勢の人々の暮らしを推測し、伊勢市前史を紐解く解説グラフィックを検討します。

○伊勢の起源と人々の営み

◇旧石器時代、縄文時代、弥生時代、古墳時代の概要

2-2 伊勢と仏教

奈良時代から鎌倉時代にかけての伊勢の有様を紹介。点在する経塚を通じて仏教隆盛時代の伊勢を示し、また伊勢を訪れた西行の足跡をたどることで、憧れの地であった伊勢の姿を示す展示とします。

○末法思想の流行

◇伊勢の経塚

○安養寺と中世伊勢

◇歌僧・西行の逗留…など

3 章 伊勢参りの変遷と隆盛 ～伊勢参りの変化と文化・芸術の振興～

〈展示ストーリー〉

国家の政治を祈る聖なる宮であり私幣禁断であった神宮が、律令制の崩壊にもなつてしきたりを変え、やがて伊勢参りが広く庶民にも許されるようになった経緯を示します。近世に入ると庶民の「おかげ参り」が周期的に流行し、御師の活躍もあいまって、多くの人やモノが交流したことにより地域が活性化したこと、また交流によってもたらされた文化・芸術が大きく花開いたこと等を、当時の伊勢のまちの様相と共に理解できる展示とします。

3-1 伊勢参りの変遷

古代には大神に弊を供え祈ることができたのは天皇ただ一人であり、供え物や私事の祈りを禁じられていましたが、武士階級の台頭と権力掌握に伴い武士が願文や奉納をおこなうようになったことを足利尊氏など南北朝時代以降の有力者たちの神宮崇敬の有様で示します。そしてその後、伊勢参りが庶民にも広がっていった時代についての変化を古文書や古絵図と共に展示解説します。

○私弊禁断から庶民の参詣へ

◇足利将軍以降の参詣…など

3-2 おかげ参り

近世に入ると、講を作っての伊勢への参詣層が広がったばかりか、女性や子供を含め大勢が参詣する「おかげ参り」が周期的に流行した。そのルールや、伊勢の人々が彼らを施行してあたたくもてなしたことを紹介すると共に、おかげ参りによって地域が賑わい、古市等の娯楽エリアも含めて伊勢のまちが大きく発展したことを、錦絵などのほか、道中道具、道中宿案内などを資料として紹介します。

○おかげ参りの流行

◇伊勢講、施行、娯楽…など

3-3 伊勢の御師

御師が町の自治組織に関わり、また庶民の伊勢参宮の案内役として伊勢参宮を導く中心的役割を担ったことを紹介します。御師館の詳細解説や大々御神楽札等の展示により、当時の御師の位置付けや活躍をリアルに感じ取れる展示解説を行います。

○伊勢信仰を広めた御師の活動

◇御師の仕事

◇御師の館

3-4 文化・芸術の振興

伊勢参りは、人々の盛んな移動に伴って多様な文化が流入し拡散していったことを関連作品と併せて紹介します。文人たちがなぜ伊勢に魅了されたのか、文人たちの視点を通して伊勢の魅力を伝えます。

○文化享受者の大衆化

◇伊勢の文化・芸術の広がり

○文化・芸術の流入と拡散

◇文化・芸術の流入および拡散の経緯

◇伊勢の文人と伊勢を訪れた文人たち

(体験展示手法例)

- ・御師とおかげ参りに訪れた人々の当時の様子を疑似体験できる展示

4 章 伊勢参りと共に発展したまち ～伊勢のまちの成り立ちと変遷～

〈展示ストーリー〉

室町時代後期から庶民の参宮が増えるにつれ、鳥居前町として発展した宇治のまちと山田のまちについて、その繁栄や衰退等をあわせて紹介し、現在にいたる経緯の理解を促します。また、中世から自治都市として栄え、他地域とは異なる伊勢ならではのまちの発展のありようを紹介します。

4-1 神領のまちの発展

宇治のまちと山田のまちは、行き交う参宮者により鳥居前町として賑わいましたが、互いに長く対立したこと、また全国的な太閤検地で厳しく管理された豊臣秀吉の時代においても伊勢では山田三方と宇治会合がまちの自治にあたり、徳川家康もその政策を引き継いで遠国奉行を設置したことなど、古文書や山田奉行屋敷図などをもとに展示解説します。

○鳥居前町としての発展

◇宇治の町の成り立ち

◇山田の町の成り立ち

○山田三方と宇治会合

◇自治組織による町政運営

○山田奉行所

◇幕府による遠国奉行の設置

4-2 神都の発展

近代に入ると鉄道がつぎつぎ開通し、それまでの神宮へのアクセスルートが大きく変化しました。また、御師の廃止によって参宮のシステムも変わり、伊勢参りも転換期を迎え、今の観光に近い来訪が増えるようになりました。日本自体が近代化への舵を大きく切ったこの時代、伊勢においても新しい神都の姿を模索し現在に至った伊勢のまちの変化を伝えます。

○鉄道開通と観光都市化

◇アクセスルートの新時代

◇伊勢参宮システムの変化

5 章 大湊と造船 ～造船のまち・大湊～

〈展示ストーリー〉

大規模な内湾である伊勢湾は、古代から海路の拠点であり、商業的にも軍事的にも重要な地でした。大湊はその中心的存在の港町であり、物資の集積地として、また造船の中心地として長く賑わいを見せました。この地で展開された海上交通や造船産業の進化発展、造船に関わる人材育成の取組など、大湊がそれぞれの時代に果たした役割の理解を促します。

4-1 伊勢の海上ネットワーク

古くは年貢や神宮への奉納品などの集積地として賑わった大湊は、東西日本を結ぶ代表的な商業港であり、また東国遠征の拠点としての軍港でもあったことを、時代ごとのネットワーク図や、それらに関わった人々の紹介と共に示し、大湊が日本の重要拠点であったことを展示解説します。

○海路の拠点・大湊

◇海路ネットワークの活用と関わる人々

5-2 造船業の盛衰

古くは中世における造船、また織田信長の鉄甲船、豊臣秀吉の日本丸、さらには白瀬轟の南極探検船・開南丸など、歴史に残る船が大湊で造られたこと、技術継承と進化のため職工養成の学校が作られたことなど、大湊の造船業の歴史を通観し展示解説します。

○造船業が時代に果たした役割と様相

◇信長・秀吉と九鬼水軍（大湊の造船史）

◇近代産業としての造船

◇職工の育成

（体験展示例）

- ・造船図面を検索閲覧するタッチモニター形式のアーカイブ

6 章 伊勢の人々 ～伝え継がれる行事と民俗～

〈展示ストーリー〉

神宮と共に生きてきた伊勢の人々が、奉仕の精神で神宮との繋がりを守ってきたことや、伝え継がれる生活の中の民俗芸能や風習を紹介することで、伊勢独特の暮らしを再認識し、伊勢の民俗知を未来へと繋げます。

6-1 神宮への奉仕行事

1300 年にわたり連綿と繰り返されてきた 20 年ごとの式年遷宮においては、御用材を宮域に運搬するお木曳き行事や、新しい御正殿に敷き詰めるお白石を拾い集めて奉納するお白石持行事など、伊勢の人々が奉仕する行事が守り伝えられていることを、お木曳き車や木遣り関係の実物資料と、実際に使われている様子が分かる映像展示を組み合わせ、臨場感のある展示とします。

○式年遷宮と人々の奉仕

◇お木曳き行事

◇お白石持行事

(体験展示例)

・本物のお木曳車を引くことができる体験展示

6-2 伊勢の民俗芸能・風習

伊勢に伝承される多彩な民俗芸能を紹介すると共に、注連縄を一年中かける伊勢ならではの風習を紹介し、先人たちから受け継いだ「伊勢らしさ」を再認識できる展示とします。

○民俗芸能・風習

◇伊勢音頭、鞆鼓踊、御頭神事、能楽、岳参り、注連縄…など

(体験展示例)

・記録映像を閲覧できるタッチモニター形式のアーカイブ映像

7 章 災害の記憶 ～伊勢の災害～

〈展示ストーリー〉

伊勢を襲った自然災害と、それらを克服し復興してきた歴史をつぶさに見ることで、災害の実態を知ると共に防災意識を高め、先人たちの経験を未来につなぎます。

7-1 伊勢の災害の足跡

地震、水害、戦災など多様な災害をジャンルごとに紹介し、市民の地域学習の糧とすると共に防災のヒントを得られる展示とします。

○伊勢と地震

◇明応地震、宝永地震、安政東海地震、昭和東南海地震

◇南海トラフ系の被害予測

○伊勢と水害

◇伊勢湾台風、七夕水害…ほか

○伊勢と戦災

◇宇治山田市大空襲…ほか

◇戦後のまちづくり

2. 企画展示の考え方

常設展示室で公開しきれなかった資料に関連したテーマ設定をすることで、収蔵資料の公開と活用を図ると共に、特化したテーマを深く掘り下げた展示で、いつ訪れても新鮮な展示が楽しめる施設作りを目指し、リピート来館をいざないます。また、市の所蔵資料や他館からの借用資料をもとに構成した展示や、市内博物館等との共催による合同展示や特別展示などを開催することで、連携拠点としての活用も目指します。

○企画展テーマ例

・伊勢のくらし・まなび・しごと

（明治末期～大正～昭和初期に使用されていた伊勢の民具や生活道具を展示。）

・伊勢の船づくり

（造船業関連の船具や舵など大型資料を扱った展示。）

など、伊勢市保有の資料を活用したものや、学校連携を目的にした学習指導要領に沿ったもの、市内博物館の専門分野と絡めたものなど、企画展示のテーマは柔軟に検討します。

3. 伊勢文化観光展示（無料エリア）の考え方

市全域に市民・観光客を誘導するため、文化観光に有力な観光情報の展示を入口にして、市内周遊を促進します。

また、このエリアは無料開放になり、より多くの人が訪れることが想定されるため、情報発信以外にも休憩スペースを設けるなど、誰もが憩い寛げる空間を目指します。

※以下、○中項目 ◇小項目

○伊勢のあらまし

◇伊勢の美しい自然風景

◇伊勢のまちなみと歴史

◇伊勢の守り伝えたい手仕事…ほか

（展示手法例）

・大型サイネージによる PR 映像展示

・タッチパネル端末等による情報検索

- ・手仕事を紹介する工芸品・食品等の実物資料展示

- 伊勢のまちなみ
- ◇伊勢の歩み年表
- ◇伊勢の周遊マップ
- ◇市内の博物館施設情報
- ◇観光案内情報

(展示手法例)

- ・年表グラフィック
- ・地図グラフィック
- ・タッチパネル端末等による観光情報検索
- ・市内博物館のリーフレットや関連サイト案内等のメディア配布

4. 展示室の整備方針

常設展示室および借用資料の受け入れが可能な企画展示室及び一時保管庫、備品等を保管する展示準備室で構成します。来館者が利用しやすく、スタッフが管理しやすい、誰もが快適に利用できる環境整備をおこないます。

(1) 常設展示室

- ・デジタル技術や先進の展示システムによって高い機能性と簡易に更新できる利便性を目指します。

(システムウォール、ダクトレール・スポット照明の設置等)

- ・貴重な資料の公開に適した展示環境の整備を目指します。

(エアタイトケースの設置等)

- ・安全で快適な展示環境とするため、ユニバーサルデザインに配慮します。

(2) 企画展示室

- ・貴重資料や他館等からの借用資料を受け入れ公開するための展示環境を整備します。

(一時保管庫、エアタイトケース、設置等)

- ・簡易に展示替えができるようフレキシブルな展示システムを整備します。

(可動間仕切りシステム、ダクトレール・スポット照明、展示用島什器の設置等)

第4章 管理運営計画（案）※詳細検討中

1. 管理運営の考え方

資料館の施設運営・事業活動の推進を着実に図れるよう、管理運営について適切な考え方や方法を検討していきます。

(1) 開かれた資料館として、市民・利用者の立場に立った運営を実施します。

- ・多様な利用者や利用形態に応じて、きめ細かな対応やサービスをおこなうとともに、ユニバーサルデザイン等、だれもが資料館を利用できる取り組みを展開します。
- ・だれもが利用しやすい開館日時や利用料金等の設定を検討します。
- ・より多くの人が資料館を効果的に利活用できるよう、広報の充実に努めるとともに、多くの人や団体・機関等が資料館を知り、利用するための取り組みを積極的に展開します。

(2) 多様な主体との連携により、効果的な資料館運営を推進します。

- ・市内外の多くの人々をはじめ、市内の博物館や市町等関係機関、学校や大学・研究機関、地域の諸団体や他の文化振興拠点等、多様な主体と連携し、さまざまな力を結集することで、より充実した魅力的な資料館活動を幅広く展開します。
- ・開かれた資料館として、市民・利用者とのコミュニケーションを大切にし、様々な意見や要望等に応える活力ある資料館運営を展開します。

(3) 効率的な運営により持続可能な資料館運営を実施します。

- ・可能な限り運営の合理化・効率化を図り、資料館の使命と役割にそった活動を、長期にわたって持続的かつ着実に展開できる運営とします。
- ・資料館の事業及び活動を維持し、市民及び利用者のニーズに十分に答えられる体制を検討します。

2. 開館形態

多くの市民・利用者に訪れていただけるように、開館日時や利用料金を、市内の博物館等文化施設の現況などをふまえて検討します。

(1) 開館日時

- ・多くの利用客に配慮した適切な開館日・休館日の設定と、展示資料や企画展等の準備、施設管理維持のための、一定の定期休館日のほか、資料整理のための特別休館日を設けることを検討します。
- ・多くの利用者の便宜を図るよう、開館日時は、周辺施設の状況を把握し管理運営の効率性に配慮して設定します。

- ・季節や曜日、企画展の開催状況などに応じた開館時間の拡大、市民活動の平日夜間利用の時間延長や、利用目的・用途などを把握して、柔軟で弾力的な開館時間を検討します。

(2) 利用料金

- ・常設展示の観覧については、充実した展示を行うため、原則的に有料とする方向で検討します。
- ・無料ゾーンを設けることで気軽に訪れる形態を検討します。
- ・料金設定については、無料利用や割引等の減免措置も含めて、市の方針に合わせて検討します。
- ・市内の周遊性を高めるための周辺展示施設との相互割引や共通利用券の導入については、各管理部署・団体と協議の上、検討します。

(3) 利用者サービスと広報

地域住民の気軽な集いの場、市民と来訪者の交流の場としても活用される資料館を目指して、資料館をより身近に楽しんでもいただくためのサービス展開を検討します。

ア.多様な利用者への配慮

- ・誰もが安全で快適に利用できる施設とすることはもとより、パンフレットの充実や展示解説・ワークシートの作成等、さまざまな利用者が資料館を十分に利用できるよう、ユニバーサルデザインに配慮したきめ細かな運営を行います。
- ・多くの海外からの来訪者を想定し、外国語対応については、伊勢市への旅行者動向等を踏まえて、順次対応言語の選定と拡大を進めます。

イ.資料館の魅力や楽しさを高めるサービス展開

- ・ミュージアムショップにおいては、観光客に配慮した特色あるオリジナル商品や館の出版物（展示図録、研究報告書、紀要等）学術・教育面に配慮した商品等を検討し、館の魅力を高めるように努めます。
- ・ショップの運営については、資料館の理念に沿った運営を行うとともに、資料館資料や地域の特色等に気軽にふれ、親しめるサービスとします。

ウ.広報の充実

- ・資料館の存在や活動理念、資料館の利用の仕方や楽しみ方、多彩な事業内容等が市民・利用者に伝わるよう、様々な媒体を活用した広報活動や他の市内の博物館等とも連携した広報活動を、開館前から積極的に展開します。
- ・多くの人や機関、団体等が資料館を知り、利用できるよう、学校・市内各地においてのアウトリーチ活動やイベント協力等、資料館の利用促進や効果的

な活用に向けた活動周知の取り組みを検討します。

3. 運営方式

資料館での事業活動の推進にあたっては、基本計画で位置づけた事業活動の実現に向けて、活動に適した運営方式の在り方を検討します。公立博物館の運営方式としては、行政による直営方式と指定管理者方式が想定されます。

(1) 直営方式

市の意向を反映しやすく、継続的かつ安定的に事業が実施されるという利点があります。

(2) 指定管理方式

市が所管する公の施設の管理権限を民間事業者に委任し運営を委ねる指定管理者方式では、民間ノウハウを活かした効率的な事業展開が期待できます。

一方で、指定管理者の交代により継続性が担保されない可能性があります。

(3) その他

資料館の使命・役割に沿った資料館活動を遂行するにあたって、適切な運営方式を検討する場合、資料館の基幹的な業務(調査研究、収集保存、教育普及等の学芸業務等)については市直営で行いながら、一部業務の民間委託を行う等の管理運営形態も考えられます。

運営方式については、いせ市民活動センターの運営状況や周辺施設の運営状況と資料館の今後の活動形態等も考慮しながら、検討を進めます。

4. 管理運営体制

魅力ある資料館を維持するには、適切な維持管理を設定し運営を行う必要があります。そのため、部門ごとの適材適所な人材配置、十分な人材の確保、さらには能力向上に向けた研修体制など、館にとって望ましい組織づくりに取り組みます。

(1) 館長・副館長

リーダーシップを発揮し、総合的に資料館活動をマネジメントできる人材を配置します。必要に応じて副館長職についても検討します。

(2) 学芸部門

展示公開活動を中心に、資料収集・保存活動・調査研究活動、さらに学校等と連携して教育普及事業を行います。

(3) 企画推進部門

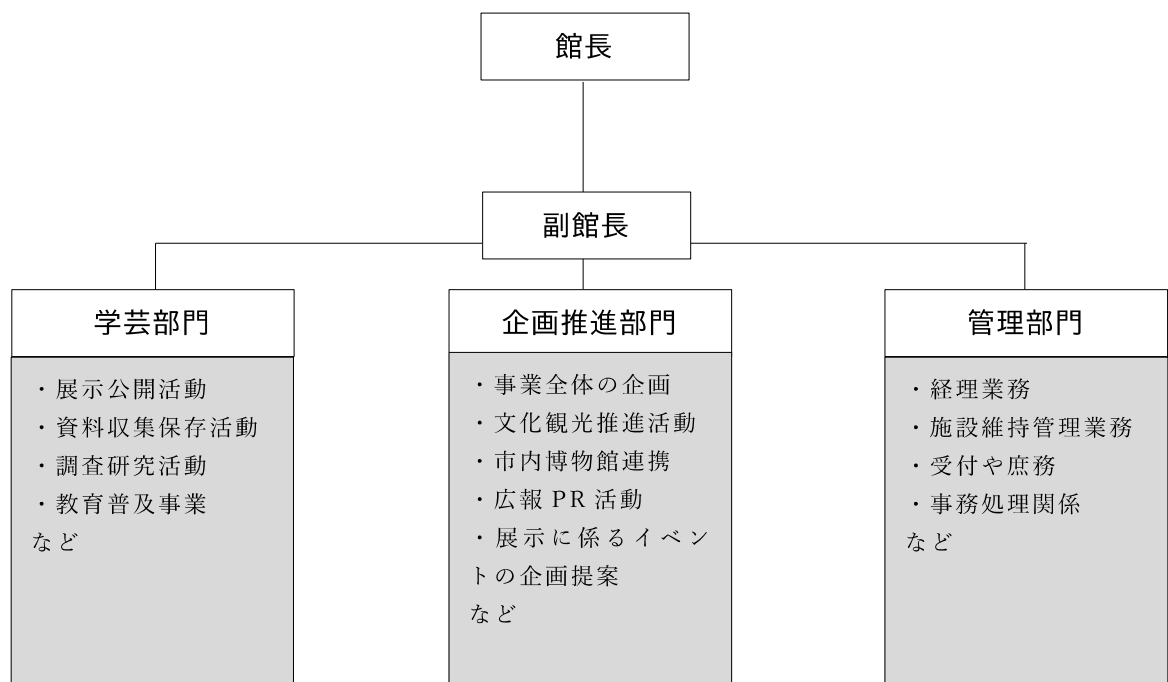
資料館の中期的企画を計画し、文化観光推進活動、市民文化交流活動等を担い、更にPR先など館外営業活動、イベント等を担当し、文化観光や連携事業による継続的な地域活性化と周遊観光促進・集客計画を行う部門とします。

(4) 管理部門

庶務や経理、施設維持管理を一括し、学芸や企画と役割を別にする事で、サービス向上と業務の効率化を図る部門とします。

【運営組織図（案）】

※各部門の担当配置数等は今後の検討とします。



活動評価と改善のしくみづくりとして、より活発に活用される場に成長していきけるよう、資料館での事業活動に対して利用者や有識者等外部からの活動評価を受け、活動の改善を行っていく仕組みづくりを検討します。